

1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

事業名	治水事業 [統一級河川整備事業 (国補)]	事業箇所	笛吹市境川町大坪外	地区名	境川	事業主体	山梨県
-----	-----------------------	------	-----------	-----	----	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景

一級河川境川は、笛吹市南西部に位置し、笛吹川に注ぐ流域面積9.2km²、延長6.6kmの一級河川である。
 堤防安全照査の結果、白井河原橋上流約400mの区間において、浸透に対して所定の安全率を満足できないことが判明した。
 本河川の想定氾濫区域内には、多くの住宅をはじめ、主要地方道白井甲州線等の重要施設も含まれており、洪水により被災した場合には住民や経済に多大な影響を与えると考えられることから、早急に堤防強化対策を行う必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標 ○洪水被害の防止
 ・改修目標流量に対する現況流下能力の割合：1.0 > 0.4※以下
 ・浸水被害又は水防活動の実績：有※
 ・想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有※
 (重要な公共施設：主要地方道白井甲州線)

□副次目標 ー

□副次効果 ○被災時の被害波及の防止
 (主要地方道白井甲州線 (緊急輸送道路) の保全)

※評価基準値

(2) 整備内容

①整備内容 堤防強化対策 L=800m
 ②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和10年度
 ④総事業費 約400百万円 (国費200百万円(5/10)県費200百万円(5/10))
 ⑤年度別の整備内容 (事業費)
 令和3年度 詳細設計、地質調査 20 百万円
 令和4~10年度 堤防強化対策 380 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費
 なし

(3) 事業の妥当性評価

妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) ○
 河川法第1条及び第9条により河川の洪水防止を義務づけられている。

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) ○
 県が管理する一級河川である。

③経済妥当性 ○

総事業費	400 百万円	工期	R3~R10	基準年	R2
経済 効 率 性	費用	446 百万円	便益	8,812 百万円	
	建設費	349 百万円	一般資産被害防止額	3,233 百万円	
	維持管理費	97 百万円	公共土木施設等被害防止額	5,477 百万円	
			その他※	102 百万円	
B/C			19.8		

※その他は、間接被害防止便益
 費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

④事業実施・規模の妥当性 ○
 堤防点検の結果から安全性が不足している区間を事業範囲として設定。

⑤整備手法の有効性 ○
 新たな用地取得を伴わず、経済的にも最も優れた計画とした。

⑥環境負荷等への配慮 ○
 覆土、寄せ石などを行い水際部の植生環境に配慮する。

⑦事業計画の熟度 ○
 地元要望あり。

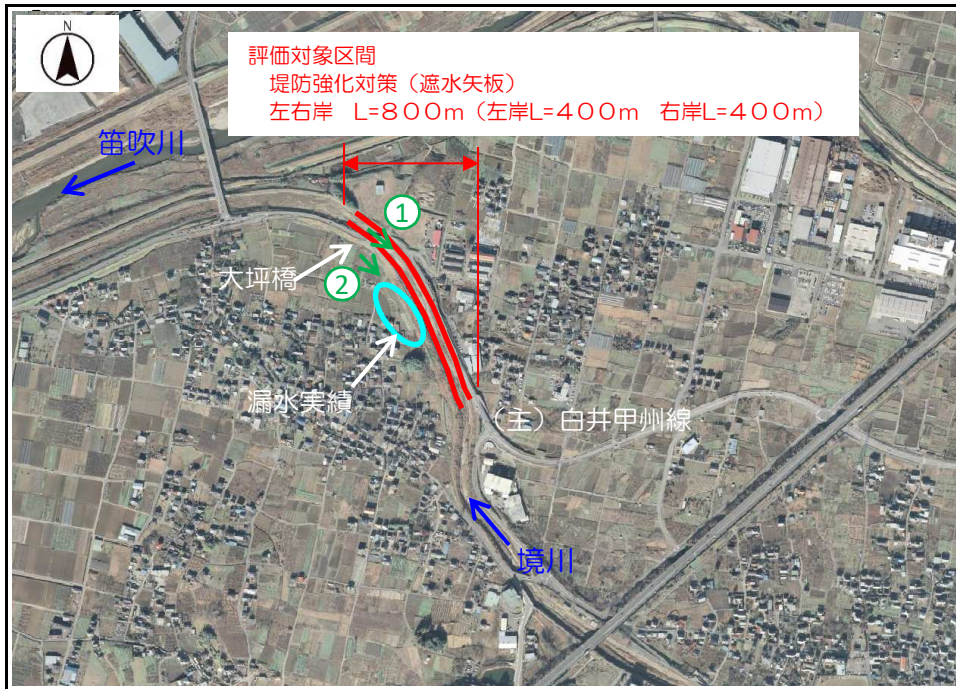
総合評価

[貢献度ランク：a]

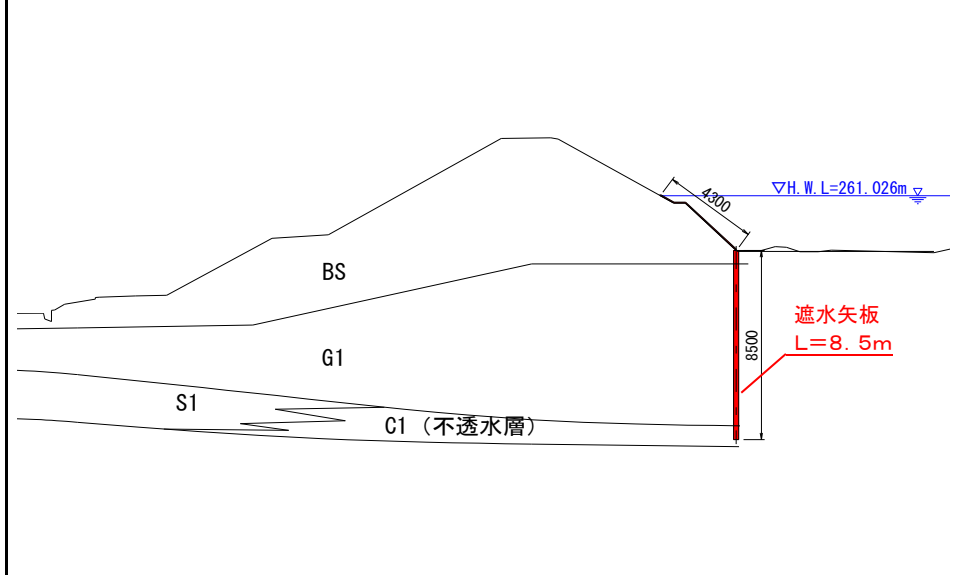
(4) 事業位置図等



2. 添付資料シート



【標準横断図】



【写真①】

現況写真



【写真②】

漏水状況

